



日本カトリック海外宣教者を支援する会

巻頭言

喜びや悲しみを共にする道

マリアの宣教者フランシスコ修道会 奥田知香

私は2018年に終生誓願を宣立し韓国への派遣を受け2020年に来韓しました。1年目はソウルで韓国語を学び、2年目に釜山へ派遣され知的障がい者の施設で奉仕をしていましたが、現在は一時的に仁川にある移住民センターで不法滞在者の赤ちゃんたちを保育する仕事をしています。

私が音楽の授業でアリランという曲を聞いたのは小学生の頃でしたが、美しくも悲しげに聞こえるメロディーがなぜだか心に残りました。その後も、学校で歴史を学ぶにつれて、多くの苦難を経験したこの国への関心が強くなりました。20代の頃、旅行で韓国に来た時にはソウルにある大聖堂でこのように祈りました。「神様、もしお望みなら、私がこの国で人々と共に喜びや悲しみを分かちあえる道をお与えください。」当時はまだ修道会にも入会してはおらず、どんな道があるのかも分かりませんでしたが、20年後に神様は宣教者として韓国に来る道を与えてくださいました。

韓国に来て1年が過ぎたある日のことです。60代のシスターがこう言われました。「信仰を持っていても、修道女であっても、日本が戦争の時にしたことを赦すことは簡単ではないし、



巻頭言	1
第83回運営委員会議事録	2
宣教者からのお便り	4
ザ・メッセージ	10
ECHO	12
連載「海外宣教」	14
クリスマスカード	15
新入会員・事務局より	16



今の日本政府の考えを理解することもすごく難しいです。」また別の日には「話したいことがあるので良かったら一緒に散歩に行きませんか？」と誘ってくれた 50 代のシスターに「実は、日本人のシスターと一緒に住むようになると聞いた時、日本人というだけで身構える気持ちがありました。でも、シスター知香と一緒に生活しているうちに日本や日本人に対する考えが変わってきました。韓国に来てくれてありがとう。」と言われました。私は、この姉妹たちが心の中の葛藤を正直に話してくれたことを有難く感じました。多くの韓国の人たちの心にある痛みを神様が見せてくださったように思われました。

昨年の 12 月には、移住民センターの赤ちゃんたちがコロナにかかり、私も濃厚接触者であったために感染してしまいました。救急車で 2 時間以上もかかる生活治療施設に隔離されたものの、38 度以上の高熱が続いたため入院することになりました。修道院から遠く離れて隔離しなければならないことに戸惑いましたが、ここで新たな出会いをいただくことになりました。同世代の患者さんは退院前日「職場から隔離が解除になっても出勤してくるかと電話で言われたの。私の存在が嫌なんだわ……。」と泣いておられました。また、80 代の患者さんは「持病もあるし、退院しても一人暮らしだから不安だよ……。」と寂し気に話しておられました。病室で一緒になった患者さんたちとは、隔離されている者同士の絆が芽生えました。一人、また一人と退院されるたびに、別れを惜しみつつも皆で喜びあいました。今でも、祈りのたびに思い出します。また、入院中の私のもとには、韓国のシスターたちからメッセージがたくさん届きました。その中には、釜山の知的障がい者の施設で一緒に働いていたシスターからのメッセージもありました。「子供たちが、『シスター知香に会いたい。シスターはいつ釜山に帰って来るの?』と毎日尋ねてきますよ。元気になってまた会えるのを皆で待っていますね。」と書かれてありました。メッセージを読みながら、子供たちと過ごした楽しい時間が心に浮かびました。神様はこのような宣教者として人々と喜びや悲しみを共にする道をくださっています。

□■□ 第 83 回運営委員会議事録 □■□

日 時：2021 年 12 月 11 日（土） 15:00 ～ 16:15

場 所：「きずな」運営委員会 zoom 会議

参加者：会長村上芳隆神父、伊藤厚志、Sr. 桐野香、後藤由美子、島上麻子、諏訪なほみ、中村文子、波多野光男、波多野真理子、Sr. 日高和子、山田真知子

議 事

I. 「きずな」157 号について

編集者から→7 件の原稿を頂き、16 ページを目指したが、どうしても間延びした感じになるため、行間や文字間隔を調整してすべて入れられたが、結局 12 ページに収まった、今

回はクリスマスメッセージや事務局からは、小さくせざるを得なかった。カラーとしてクリスマスの雰囲気が出た。

Ⅱ. 「きずな」158号について

158号巻頭言は韓国派遣、マリアの宣教者フランシスコ修道会シスター奥田 知香にお願いすることになった。

Ⅲ. 援助申請

- ・ Sister 眞神シゲ（ベリス・メルセス宣教修道女会）

ご本人はグアテマラにいらっしゃるが距離的に近い以前の宣教地メキシコからの申請。メキシコ（チアパス）ソヤティタンで難民のコミュニティにアクセスするための車のガソリン代本年、年1回、値上がりが著しい。

\$ 1000.00

(¥100,000)

援助申請が承認された。

報告・Sister 泉叔美（ショファイユの幼きイエズス修道会）アガタさん援助の報告書が来た。

確認された。

Ⅳ. その他

- ・ 顧問山野内司教の提案で、これからの「きずな」運営委員会は年に1回は集まることとして、他の3回はzoom会議に変更するのはどうか？ 賛成多数で決定。
- ・ 今までのボランティア瀬田発送を六本木（聖ヨゼフ修道院）発送ということの可能性は？ 六本木からは坂道ではない、新たに人を募集し易い、伝票のやり取りが不要、交通費精算で事務局と近いなどメリットがあるが、一方瀬田修道院への道のりは年配者にはきつくなってきた事などを考え、変更しても良いのではないかという大方の意見。ボランティアにも相談の上決定。
- ・ 3月のボランティア発送に関しては未定。（オミクロン株など発出の為）
- ・ 今回、国内「きずな」157号は業者により、2,857通発送。
- ・ 12月3日事務局で3名のボランティアにより「きずな」国内大口53通、「きずな」海外111通（一言を添えたクリスマスカード同封、皆様と繋がる良い機会となった）、一言を添えたクリスマスカード入り封書、国内44通などを発送。
- ・ すでに前回の「きずな」の通り事務所の年末年始は12月24日～1月6日までお休みとさせていただきます、新年は1月7日から開始。
- ・ 会長村上芳隆神父（フランシスコ会）は自ら今日の会議に出席され皆様のお祈りのおかげで順調に回復されているとのこと。
- ・ 次回の運営委員会は2022年3月12日（土曜日）



宣教者からのお便り



モンゴル

◆ゾーンモド◆

教区の小学校の校長に

サレジアンシスターズ 小 島 華 子

皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。次々に変異するコロナウィルスのために、たくさんの制限や困難を感じていらっしゃることでしょう。

モンゴルでもオミクロンが蔓延し感染者は以前より増えていますが、コロナ疲れの気の緩みか感染者が出て以前のような切迫感や緊張感がなく、濃厚接触者であっても自宅待機せず自由に外出し普通に生活しているようです。

私事です、司教様からの要請を受けて昨年の9月から教区の小学校の校長になりました。この学校はウランバートルから45キロほど離れたゾーンモドというところにあり、ドブ県唯一の私立学校です。ゾーンモドはウランバートル市から近いものの田舎ですのでいろいろと不便なことも多いですが、空気はきれいで（冬は例外）広々としており、騒音もなく車の数も少ないのでゆっくり、ゆったりと過ごすことができます。

このような素晴らしい環境とは裏腹に、学校に来る子供たちを通して人々の生活の実態を知ることになりました。仕事がないため両親から捨てられ祖父母に育てられている子供、父あるいは母がアルコール中毒でまともに世話をし

もらっていない子供、貧しいために食事を満足に与えられずお風呂に何日も入ることができない子供、そして親が読み書きを知らないために宿題を全くしてこない子供がいることなどです。

親たちは毎日生きることに精一杯で、親自身がより良い生活を目指して何かの努力を何とか、子供にはこんな風に育ってほしいというような、将来に対する希望や展望を全く持っていません。一日中家に入り浸って友達と一緒にお酒を飲んだり、夜に出かけて行って翌朝酔って帰ってくる…。このような親に育てられる小さな子供たちの生活と心情を想像すると胸が痛くなります。しかも家庭状況を聞くと子供たちは親をかばって嘘をつくのです。私は涙をこらえるのに必死になることが度々あります。

私の修道会の創立者、聖ヨハネ・ボスコの教訓の一つである「愛情なければ信頼なく、信頼なければ教育はない」という言葉に従い、私は毎日一人一人の名前を呼び、話しかけ、時にはしっかりと抱きしめます。せめて学校で“自分は大切にされ愛されている”ということを感じてもらいたいと思っています。子供たちは国の将来であり私たちの希望です。神様が送ってくださった子供たちが、自分の置かれた状況に負けることなく誠実な社会人、正しい倫理観と真の深い愛情を持った人間に成長できるよう、どうぞお祈りをもって応援してくださいませ。

パラグアイ ◆イグアス◆

パラグアイ初の日系司祭誕生

聖霊奉侍布教修道女会 山 田 雲 江

私、聖霊会の会員としてパラグアイに派遣されて56年、86歳になりました。今では私一人になりましたが、病床、車椅子からケイタイを通して「みことばを通して」分かち合い、信者、修道者、又、人として恵まれた交わりを保ちながらキリストのミッションに参加させていただいて本当に幸せです。車椅子での写真ですと上半身だけが見え、そのような病身で痛みと対等してるなんて……、と言われますが、このような捧げで宣教に参加させていただけることは素晴らしいことで感謝の毎日です。

実はこの度パラグアイ日本人移住80周年の記念誌を「いただいたのです」が、パラグアイでの移住者と教会のつながりの歴史資料として支援する会に収めていただければ幸いです。

COVID-19（コロナ）のあおりで郵便物も届いたり届かなかったりで、現在の会長様、事務局の方、ボランティアの方々のお名前もわからず失礼をお許し下さい。

この度JICAの福井様のご親切に日本まで持って行って下さるとのことでこの便りを書いております。日本語を使うこともなく、年も重ねて思い出せず乱筆、乱文お許しください。

2021年11月13日パラグアイ初の日系司祭が恵まれました。イグアスの宣教が始められて56年目です。アウグスチノ洗足修道会のジョセフ・ナオキ・オチ・サンチェスです。お父さんは日本からパラグアイに来られた移住者。お

母さんはパラグアイ人でイグアスの勤労者のため、聖ヨゼフ小教区のカテキスタです。

司祭叙階の時、メッセージで品田神父様から支援する会に報告をお願いしました。また折りを見て、送られたケイタイ写真をお届けします。

私はアスンシオンの会の本部にいますが、移住地と約350キロメートル離れていて、イグアスへ日時に合わせて送り届けることが大変で、間に合わないこともあります。これから書類の送り先としてお願いしました、ブラジル国境の郵便局にイグアス日本人会から取りに行ってください。井上よしえさんは私の最初の要理の生徒です。今では日本人のカテキスタとしてつとめて下さっています。オチ・ナオキ新司祭はイグアス生まれで「日本語、スペイン語、ポルトゲス、ガラニー語」がおできになり、皆さん喜んでいます。感謝の中に。

シエラレオネ ◆ルンサ◆

教会に入りきれない人でいっぱい

ご聖体の宣教クララ修道会 白 幡 和 子

ずいぶん長い間インターネットが動かず、何のご報告もできずに時が過ぎてしまいました。どうぞお許しください。昨年も大変お世話になりました。本当にありがとうございます。シスター吉田がいなかったのでさびしいです。日本ではオミクロンがすごい勢いで増えているそうで、心配です。こちらにも入ってきているらしいですが、ルンサには何もありません。クリスマスも新年もごミサは教会に入りきれないぐらいの

人でいっぱいでした。今年も死ななかったよ！
神様本当にありがとう、と体中でリズムを取り
ながら歌って踊って命の与えぬしである主を賛
美していました。

私たちは12月27日にシエラレオネにいる
シスターたちが全員ルンギの修道院に集まっ
てクリスマスをお祝いしました。それぞれの修
道院から持ち寄った食事に舌鼓を打った後、ビ
ニャータというメキシコのゲームを楽しみ子供
のようでした。

1月15日にはナイジェリアとシエラレオネ
のシスターが終生誓願を立てました。感謝のゴ
ミサはルンサから200キロ離れたケネマのカ
テドラルで在りましたが、そこでの終生誓願式
は歴史上、初めてだったので司教様はじめ司祭
方シスターたち信者さんたちが大勢いらしてく
ださり喜びを共にしました。

そのあと私はマラリアに罹ってしまい、今回
は下痢がひどくて往生しましたが地区長のシス
ターは名看護婦なので家で点滴も注射もできて
とても助かりました。神に感謝です。一週間後
には一日に1時間だけ園で教えることも許さ
れ、子供から元気をもらいました。

こちらでは今、運動会の季節です。カトリッ
クの幼稚園や学校は司教様からのお望みで四旬
節中には運動会とかフェスタはしないように言
われているので、3月2日の前に終わらせるか
それともご復活の後になりますが、後者の場合
雨季が始まりますのでできれば今のほうがよい
のです。クリスマスもほこりのホワイトクリス
マスでした。もうすぐ四旬節に入ります。今年
こそは真の回心ができるようどうぞお祈りで助
けてください。

そして、今年もどうぞよろしくお願い申しあ
げます。皆様おひとりおひとりとご家族の上に
主の豊かな祝福がありますように心からお祈り
いたします。

東ティモール

◆ディリ◆

無事にディリ到着しました

聖マリア修道女会 荒井 祥恵

まだまだコロナ禍は続いていますね。

幸いにも、1月14日、無事にDiliに到着い
たしました。派遣されている5人のシスターの
内の4人のメンバーと、その人たちに一か月余
り同伴する総長チームの私達2人、計6人で到
着いたしました。到着時から48時間の隔離が
終わった直後に、一人が、飛行場での検査で陽
性反応を出し、即隔離センターへ送られました。
その2日後もう一人具合が悪くなり、検査の結
果陽性が判明し、計2人が隔離センターへ送ら
れました。この2人が陰性となり隔離センター
を出られるのをDiliで待ちました。最終的に
派遣されるシスターがAtaurro島へ渡れたの
は、2月5日土曜日でした。



タグボートに乗り換えて浜辺に上陸



畑仕事をするシスター NORAH

今この4人のシスター達は、この島の生活に慣れるように色々なことを学んでいる段階です。生活必需品の何が買えて、何は買えないのかとか、どの位の頻度で買い物のために Dili に渡る必要があるかとかいうことです。野菜や果物（パパイヤとバナナ）は豊富にあるようです。教区司祭の Fr. Guido が、私達が来たことをとても喜んでくれています。漁師の村々、山奥の小さいチャペルを訪問する時には声をかけてくれてシスター達が Atauro の状況が分かるように色々取り計らってくれています。もう少し経つと、子供達、若者たちのための教育のミッションが始められると思います。女性の識字率が非常に低い所だそうです。彼女達のためにも何か始めたいと思っています。

オーストラリア ◆シドニー◆

コロナ禍で厳しい状態に

聖パウロ女子修道会 松 本 恵

シドニーは、昨年12月の半ばまでの6か月間ロックダウンで、書店をズーっと開けられなかったものの、少なくともその間は、政府から

の補助金が出て、何とか生き延びられたのですが、12月半ば以降は、政府からの規制が外されて、それぞれの店や会社に営業をするかしないかの決断を任せられ、補助金が出なくなり、実質的には前よりも厳しい状態になっています。

ワクチン接種率はかなり高くなっていても、新型出現のために、感染者数は増える一方で、私たちの書店も恐る恐る開けているといった状態です。本来ならば、誰にでも開かれた教会、書店のはずなのですが、常連の方だけに限定するなど、辛いところです。

私たち共同体のメンバー8名は、全員3回目のワクチン接種を終え、今のところ誰も感染せず、元気に生活していますが、まだまだワクチンが思うように受けられなかったり、感染しても十分な治療を受けられない方々のことを思い、必要なお恵みをお祈りしています。

グアテマラ ◆コロンバ◆

本当に感謝です

ベリス・メルセス宣教修道女会 眞 神 シ ゲ

有難う！有難う。深く感謝!! 朝はミサに行く前に周りの山々に向かって、東西南北に挨拶をしまくりました。本当に感謝です♪♪ 経済的に助かるだけでなく、私たちの仕事を見てくださる人が居ると感じるだけで、大いなる勇気づけを、感じ、やる気が湧いてきます。嬉しいでした。嬉しいを何回も言いたいです♪。

来年3月に会全体の代表者の集まりがメキシコで行われます。日本からも代表者が参加します。今は、感謝のみです。

チャド

◆ライ◆

自由に誰かと出会える事

ショファイユの幼きイエズス修道会 松 山 浩 子

チャドは、幸いにも、オミクロンのコロナ感染もなく、月曜日、幼稚園で朝8時の朝礼で、歌の練習をしています。

9時には、聖ヨハネ 23 世の中学校でも、音楽を教えています。後は火曜日・木曜日・金曜日の5時間目で11時半から、12時15分まで教えています。

金曜日、神学校で朝7時から11時まで、みんな音楽は大好きです。楽譜を読めるように頑張ってます。そのほか炊事当番で炭、薪を使ってお料理を楽しんでいます。

1か月に1回位、刑務所での、み言葉の分かち合いもチャド人の神父様と通っています。皆、真剣に聴いて…下さるので、こちら心からお祈りできる日を楽しみにしています。

1月25日から28日まで、ライ教区の司祭・修道者が全員集まって約62人シノドスの準備の為に、研修会がありました。修道会に入会する前に、CLCの活動をしていた頃を思い出しました。

久しぶりに、多くの人が集まって、祈る時・聖霊が働いている感じがしました。心ワクワクするような思いで参加している方の分かち合いを聴いてました。

昨年、休暇で日本にいた時マラリアに罹って約2か月、部屋から出られない状態でした。コロナ感染拡大もあったので、もちろん家族訪問も断念しなければなりませんでした。

困難な状況ただけに、チャドで自由に誰かと出会える事が、とても新鮮な心で、嬉しくて、私のようなものでも……喜んで奉仕できる事に心から感謝せずにはられません。自分自身の召命について？ 宿題がでています。新たな思いで、出逢った全ての方々に感謝!! 私たち、皆主キリストの体、教会なんだ。

自分の弱さの中に働いている神様の恵みを感じます。喜んで、誰かと出会えることに心から感謝、みんな神様の恵みと祝福に満ちている。

神様から派遣されているこの時を本当に有難く感じる日々です。

東ティモール

◆リキサ◆

学校で学び卒業した後の歩み

イエズス会 浦 善 孝

昨年、本紙に巻頭言を寄せさせていただきましたが、今年はサバティカル・イヤーとなり3ヶ月半の一時帰国を東京で過ごしています。

インドネシアからの独立戦争で荒廃した東ティモールの復興にカトリック教会も携わろうと、新しい学校創立のためのプロジェクト・チームが結成され、その一員として赴任しています。2013年開校した聖イグナチオ学院には、10期生の新中学1年生が入学してきましたし、もう4期生が高校を卒業してゆきました。東ティモールで高校卒業の際に実施される卒業検定国家試験ではこれまで卒業生の成績は抜群で、常に1位から3位までに本校生の名前がありました。それゆえ卒業式ごとに、教育大臣や独立戦争時の英雄で元大統領のシャナナ氏、現大統領

夫人が来校し特別講演をしてくださいました。教育大臣は保護者に向かって「この学校よりよい学校はないので、他の学校を探す必要はありません」と語りました。

そのあと教育大臣が、「この学校に村の子どもたちはいるのか」と卒業式に居合わせた村の公立小学校の校長先生に訊ねたそうです。「たくさんいると答えた」と、校長先生は私に語ってくれました。この学校のプロジェクト・チームは予てより、旧来の「カトリック有名校をモデルにしないぞ」と語り、「豊かな家庭の子どもも、貧しい家庭の子どもも、学びたいすべての子どもたちが一緒に学べるきちんとした学校」を創ることを目標としてきました。いま生徒8名につき1名は奨学生です。「質の高い教育をすべての人に」というSDGsの目標4もここで実践されつつあります。

しかしコロナ禍の今、「学校における教育が目指すもの」を問い直す機会となっているようです。すなわち、パーソナリティーの発達段階など人間を「発達」のコンテキストで説明することの限界にきているような気がします。発達心理学に助けを借りた知識や人間性の成長の論客から解放されて、別の知識と人間性の理解の仕方を求めるときが来たようです。というのは、トウモロコシやキャッサバを育てながら電気も来ていない集落に家族や親類たちと一緒に暮らしていた生徒が、私が携わる新しい学校で学び卒業した後、どのような「それから」を歩むのだろうかと考えるようになりました。元の生活に戻る生徒もいるからです。素朴に生活してきた彼ら彼女たちは、自らの文化と信仰、それに基づく人生観があり、先進国や東ティモールで

も都市部に住み相対的に豊かな生活をする人々のそれとは異なるのではないだろうかという問いです。インターネットでブログ＜東ティモール ワニ通信＞を検索してください。そこで私たちの学校と生徒たちを紹介していますので、一緒に考えていただければ幸いです。

フランススコ会海外宣教者の近況

★韓国：Br. 高阪 淑皓

韓国のフランススコ会が運営するソウル市内の貧しい人の為にケアを行う共同体で生活し、奉仕をしています。また、ソウル市内の日本語ミサのグループのための奉仕を長い間続けています。フランススコ会韓国管区に入籍して、韓国管区の一員として現地で奉仕しています。

★フィリピン：Fr. 佐藤 宝倉

現在もフィリピンで聾者のための授業で教えるほかに、教員養成のために活動を続けています。代表を務めるフランシスカン・デフ・センター（聾者のための教育センター）は2022年に22年目を迎えます。センターで勉強が続いている子供たちの中から、将来の聾教育の教員候補が出てくるようになりました。2021年11月社会貢献財団から表彰されました。

★イスラエル：Fr. 新 直己

2020年からナザレの修道院で働いています。現在の主な仕事は、巡礼者のお世話の仕事と典礼奉仕です。そのほかには、ボランティア活動として、難民キャンプで奉仕しています。現在、イスラエルはパンデミックによる渡航規制により、海外からの巡礼者はほとんどなく、イスラエル国内の巡礼者の案内や典礼奉仕が多いです。



*** フランス シャルトル**

シャルトル聖パウロ修道女会 米島幸子

毎回、『きずな』をお送りくださいます。ありがとうございます。また、今回も手書きのクリスマスカードをありがとうございました。温かな思いに包まれました。毎日のミサの福音解説の本に挟んで、スタッフの方や世界中のミッショネールの方々とのつながりを感じています。

私はシャルトルのカテドラルを訪れる観光客のガイドをするようにと本会の母院（メゾンメール）に派遣されてきました。COVID19のためにそれはかなわなくなりましたが、新しいミッションが開かれてきました。神様の計らいは本当に人智を超えるものと改めて実感し、今の時を大切に感謝のうちに過ごしています。

お祈りのうちに一緒にしています。

*** アメリカ**

師イエズス修道女会 丹野清子（帰国済）

クリスマスと新年おめでとうございます。

お元気ですか？「きずな」やっぱり楽しみに読んでいます。皆様の献身的な応援を心強く感謝とともに。コロナにお気をつけて。今年こそよい年でありますように願っています。

*** 南アフリカ**

イエスの小さい姉妹会 片井暁子

日本はすっかりパンデミックが下火になっていると聞きましたが如何お過ごしでしょうか？

こちらはご存知のオミクロンで感染者が続々で（毎日2万人以上）盛り上がっていますが幸

いに症状がマイルドで死者も少数の様子、特にワクチン接種をした人は症状も軽く回復も早いと聞いています。何とラマポーザ大統領もポジティブで隔離中だそうです。という事で私達の生活はさほど変わりなく毎朝教会でのミサに与ることもできています。クリスマスのミサにも変更がないようです。もちろん参加人数などの制限は今まで通りの3割ですが。

プラムとアプリコットの美味しい季節になりましたのでジャム作りに励んでいるところです。幼な子イエスさまを迎える心の準備にもお互いに励みつつ、素晴らしいご降誕祭を迎えられますように。お身体を呉々も大切に。

*** イタリア ローマ**

イエスのカリタス修道女会 松山恵美子

きずな 157号に2日遅れで155号と156号が着きましたのでお知らせします。さっそく姉妹たちに回しました。いつも本当にお世話様です。心からの感謝を込めて。

*** チャド**

ショファイユの幼きイエズス修道会 松山浩子

チャドにシスター近藤が帰ってきて日本人シスターだけで、何とかお役に立つよう頑張っています。シスター泉がンジャメナまでシスター近藤を迎えに行った夜にシスター平の部屋に泥棒が入ったので、その晩から泊まりに来ています。早く見つかるように！お祈り下さい。こんな時番犬は、とても心強いです。あまりあてにはありませんが、何とかお役に立つよう頑張ってます。

す。お心お体ご大切に。感謝と祈りのうちに！

***オーストラリア シドニー**

聖パウロ女子修道会 松本 恵

お元気ですか。私はコロナにも負けず元気にしています。昨年に引き続き、今年もコロナ禍の影響下で迎えるクリスマス、来年もまだ帰省が実現しそうでないようなそんな状態の中、昨日、今日、明日、そして永遠の主、私たちの希望の源のイエス様のご誕生を祝うのに相応しい物を見つけましたので、それを使ったデザインでクリスマス・カードを作りました。日本名は「ニオイバンマツリ」と言うそうですが、英語名は「Yesterday-Today-and-Tomorrow」という木の花が、私たちの修道院の庭の片隅にきれいに咲いていたので、思わず写真に撮ったのです。よいお年をお迎えください！

***モンゴル**

サレジアン・シスターズ 小島華子

オミクロンの勢いはすごいですね。また新しい変異ウイルスが出てきているので気をつけないといけませんね。昨日からモンゴルは旧正月のお祝いに入りました。モンゴルでもオミクロンの勢いはすごいです、人々は恒例のようにお祝いをし、挨拶回りをしているようです。今後どうなるのでしょうか？

***マダガスカル タナナリブ**

マリアの宣教師フランシスコ修道会 平間理子

大変ご無沙汰しておりますが皆様お元気ですか？昨年7月末に転んで大腿骨を骨折し、いまだにリハビリ中です。こちら昨年はコロナに振りまわされ、今年もコロナが増えて来ていますが、その上に1月末には台風1号で、私の居るタナナリブを中心に大雨、強風で土砂崩れ、

道路や橋は寸断され亡くなった人や家を失った人が多くでました。また2月始めに台風2号が来て南の方を舐め尽くしていき現在はマダガスカル中が洪水や台風後の後始末と整理で大変な状態ですので早く色々の問題が解決出来る様にお祈りしてください。皆様によりしくお伝え下さいませ。今年もよろしくお願い致します。

***カンボジア**

ショファイユの壱きイエズス修道会 黒岩あつ子（帰国済）

主のご降誕おめでとうございます。今年も続くコロナ禍でのクリスマスですが、如何お迎えでしょうか？ さて、今年もパソコンに挑戦し、祈りのうちに工夫、苦心してのご挨拶となりました。年々、世界中に苦難が増しているのを感じる情勢にあって、すべての人のためのイエス様のお誕生に心を留め、創られたすべてのものの命の尊さに目覚めることができますように！そして共に生きる喜びに向かう恵の時、恵の年となりますように！！

***イタリア ローマ**

聖マリア修道女会 荒井祥恵

主のご降誕と新年のお喜びを申し上げます。ご無沙汰しています。如何お過ごしですか。来年早々、東チモールに行けることになりました。商用便はまだありませんが、マレーシアのクアラルンプールとDiliの間に、国連等を出しているチャーター便があり、それを使って行きます。必要書類は整えました。1月12日にローマを出発する予定です。無事に搭乗を許可されることを祈っています。あちらへ行って落ち着きましたら、頂いた支援金を、日本から送ってもらうことになるでしょう。小さいことから少しずつ始めて行きます。

私共の会のクリスマスカードをお送りします。写っている子供たちは、2019年に東チモールへ行った時に、海岸を歩いていて出会った子供たちです。すごく人懐っこいです。では、くれぐれも体に気を付けてお過ごしください。いつもありがとうございます。

* グアテマラ

ベリス・メルセス宣教修道女会 眞神シゲ

先日、メキシコの会計さんから連絡がありました。ローマへの送金ありがとうございました。2月に受け取ることになりました。ローマもメキシコも眞神も、感謝しております。

新しい年も頑張ってください。きずなを読むことのできないのが残念です。24年には日本訪問ですので、この日まで、溜めておいてくださいませ♪ 出来たらで良いです。忘れても構いません。皆様。新年おめでとうございます。

* カンボジア カンボート

ショファイユの幼きイエズス修道会 園田国子

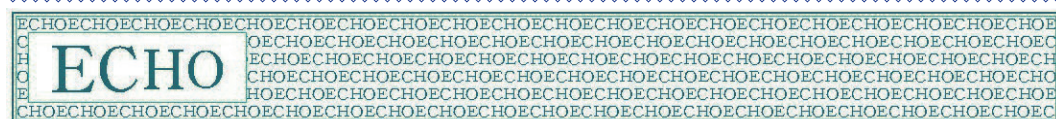
いつもたくさんの援助、ありがとうございます。お陰さまで、私たちは子どもたちの援助の為に村周りをすることができました。子どもた

ちにも、神様の愛が届きました。心から感謝申し上げます。オミクロン株も市中感染が広がり、寒さとともに増えていくことでしょう。どうぞ、ご自愛ください。黙想で聞いた話ですが、不思議のメダイを付けると雇らないというお告げを受けたそうで、大量のメダイが中国に送られたそうです。この話をしたら、ベトナムのシスターが回りの村は皆、雇っているのに、自分の村は誰も雇っていない。無原罪のマリア様が村の保護者だそうです。私も早速付けました。皆様もどうでしょうか？新しい年も聖母のご保護のもと、神様の愛が人々に届きますように、お祈りしております。

* 韓国 テジョン

御聖体の宣教クララ修道会 小川和子

先日11月25日に「きずな」154号を受け取りました。有難うございました。嬉しく読ませていただいております。シスター山崎と私、お陰さまで、ワクチンをうけ元気しております。宣教者の方々のお便りに励まされ、私たちも新しい年に希望をかけて、神さまの栄光のために祈りのうちに歩み続けていきたいと思ひます。



◇いつも有難うございます、お祈りのうちに

(カトリック師イエズス修道女会)

◇皆様の献身的なお働きを感謝致しております。ありがとうございます。

(マリアの宣教者フランシスコ修道会、種子島)

◇いつも「きずな」をお送りいただきありがとうございます。

(神奈川県川崎市 山村かずみ)

◇寄付します。良いクリスマスが迎えられますように。

(神奈川県横浜市 花田道子)

◇厳しい環境で宣教をされる皆様の安全とご健康を心からお祈りいたします。キリストの御言葉が多くの人に伝えられますように。

(北海道室蘭市 松岡謙一・博子)

◇「きずな」をいつもありがとうございます。

(山口県防府市 キリスト・イエズスの宣教会)

◇クリスマス献金

(広島県広島市 ノートルダム清心中・高等学校)

◇クリスマス献金として寄付させていただき
ます。シスター方の働きを通して多くの人がキリ
ストのひかりを受け救いの喜びを体験すること
が出来ますように。

(栃木県那須町 シトー会那須の聖母修道院)

◇クリスマス献金を送らせていただきます。皆
様の健康をお祈り申し上げております。

(田園調布雙葉中学高等学校エリザベット会滝口)

◇宣教活動の為

(東京都千代田区 カトリック・マリア会)

◇いつも「きずな」お送りいただきありがと
うございました。皆様のうえに神様のお恵みがあ
りますように。(宮崎県小林市 青江ツヤ子)

◇きずな 157 号を有難うございました。過酷
な環境で宣教のために活動しておられる方々の
生活は、私どもへの信仰のあかしです。心より
感謝しております。(福岡県福岡市 南野 森)

◇米寿が迎えられた感謝を込めて…

(東京都世田谷区 露木 実)

◇海外宣教者のみな様のお働きに深い感謝があ
ふれます。ありがとうございます。

(福岡県福岡市 森 由理)

◇皆様のお働きありがとうございます。クリ
スマスと新年のお喜びを申し上げます。

(京都府京都市 ヌヴェール愛徳修道会)

◇御降誕おめでとうございます。世界の平和を
祈ります。(愛媛県西条市 近藤恵津子)

◇菜園での果物、花、信徒の手芸品、寄付など
1 年間分の金額です。そちらの活動の様子の手
紙「きずな」を送っていただければ幸いです。

(福島県田村郡 折笠澄子)

◇わずかですが、心を合わせて。

(大阪府箕面市 大阪聖ヨゼフ会修練院)

◇新春のおよろこびを申し上げます。今年も宜
しくおねがいいたします。日頃のお働き感謝し
ております。「きずな」楽しみです。皆様のご
健康を祈りつつ。

(東京都武蔵野市 八幡とも子)

◇いつも「きずな」をありがとうございます。
皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

(北海道札幌市 カトリック北 26 条教会)

◇例年にない寒さです。皆様どうぞお身体に気
をつけて下さいませ。ご活躍を心から祈って
おります。

(東京都中野区 ベタニア修道会第 1 修道院)

◇「きずな」をありがとうございます。お祈り
しております。

(東京都中野区 ベタニア修道会本部)

◇コロナがなかなか終息しない世界で、困難な
地域で働いてくださっている皆様のために祈り
を捧げます。頭が下がります。

(兵庫県神戸市 森口耀子)

訃 報

U.S.A.・メアリー・レティティア 豊田 良子 (アトンメントのフランシスコ女子修道会)

2021 年 2 月 2 日帰天。

ブラジル・・・マリア・ベルナデッタ 浅沼 みどり (マリアの宣教者フランシスコ修道会)

2021 年 8 月 20 日帰天

ブラジル・・・ヴィンセンチア 堂園 みつ子 (純心聖母会)

2021 年 11 月 15 日帰天

不平等なウィルス

弘 田 しずえ

ベリス・メルセス宣教修道女会

オックスファムは、貧困と不正を根絶するための持続的な支援活動を 90 カ国以上で展開している 20 の組織から編成される団体 ですが、1 月 25 日に「不平等ウィルス」と題した調査の結果を発表し、朝の NHK のニュースでも報道されました。この調査報告書をご紹介しますと思います。

世界で最も裕福な 10 人の男性は、パンデミックが始まって以来、その合計資産が、50 兆ドル増加で、資産が倍増したというニュースで、彼らの資産が、99.9%減っても、世界人口の 99.9%の資産合計を上回るという信じ難い不平等の事実が、スイスのダボスで開催されている世界経済フォーラムの二日目に公表されました。10 人の資産は、すべての人にコロナ・ワクチンを提供し、パンデミックによって貧困に追い込まれる人がいないようにするために十分な額ですが、その一方で、パンデミックは過去 90 年以上にわたる最悪の雇用危機をもたらし、何億人もの人々が不完全雇用や失業状態に陥っています。最も裕福な 10 人は、コロナの感染が始まった時から収入を倍増し始め、1,000 人の億万長者は、9 ヶ月で損失を回復していますが、すでに存在していた不平等に痛めつけられていた人びとが、人間らしい生活を取り戻すには、10 年以上がかかるだろうと言われています。そのためには、不平等を解決する抜本的な政策が不可欠です。

不平等の被害を受けているのは、まず女性であり、世界的に見ても、日本を見ても、パンデミックで最も大きな被害を受けた低賃金の不安定な職業には、女性が多く含まれています。もし、これらの分野で女性が男性と同じ割合で活躍できるようになれば、1 億 1200 万人の女性が収入や仕事を失う高いリスクにさらされることがないと、報告書は述べています。また、女性は世界の医療・社会福祉分野の労働力の約 70%を占めており、必要不可欠な仕事でありながら低賃金であることが多いため、コロナの被害を受けるリスクが高くなっています。

不平等が人のいのちを奪っています。ブラジルのアフリカ系住民は、白人に比べてコロナで死亡する確率が 40%高く、一方、米国では、コロナによる死亡率が白人と同じであれば、22,000 人近くの黒人やヒスパニック系住民がまだ生きていたはずで、フランス、インド、スペインなどの貧しい地域では、感染率や死亡率が高く、英国の最貧地域では、死亡率が最富裕地域の 2 倍となっています。

パパ様は、グローバル経済の不条理について、コロナ感染が始まってからも以前も、発言を続けていらっしゃいます。「このような不平等の症状は、社会的な病気を示しています。それは病気の経済から来るウイルスです。それは、人間の基本的な価値観を無視した不平等な経済成長の結果です。今日の世界では、ごく少数の金持ちが、他の人類よりも多くのものを所有しています。」(2021.8 月一般謁見)「誰ひとり残さない」という招きは、SDGs でも言われていますが、違いを超えて、全ての人が人間としての尊厳と権利を享受する包摂的な世界は、今、福音を生きる私たちへの呼びかけです。コロナの現実、明らかな「時のしるし」として、私たちの心の中にも潜む差別、偏見、排除を、改めてイエスの目から観るよう促しているのではないのでしょうか。それが、善きサマリア人として、痛みに関わる招きに重なります。2022 年が、ナザレのイエスの優しさを生きる恵みの年となりますように。イエスの優しさは、全てのいのちを育みます。私たち一人ひとは、この優しさを日々の歩みにおいて生きるように招かれています。

『毎号“海外宣教”で私たちの目を開くように様々なことを書いてくださったベリス・メルセス宣教修道女会のシスター弘田シズエ様に心から感謝致します。有難うございました。』

各国からのクリスマスカード！



新入会員 (敬称略)

個人会員 8名

岡村 巖 (静岡県静岡市) 黒田 りよ (東京都渋谷区) 新宮 幸子 (宮城県仙台市)
三輪 春美 (東京都世田谷区) 山内 春治 (長崎県諫早市) 山口 照男 (東京都渋谷区)
木下 美恵子 (東京都大田区) 高階 みどり (東京都杉並区)

事務局より

- ◎依然コロナは予断を許さないようです、「きずな」158号が発行される頃には下火になっていて欲しいと切に願います。
- ◎巻頭言から韓国でもコロナは深刻のようです早く収まりますようにお祈りでご参加ください。
- ◎この号をもって2021年度が終わり決算後、2022年度に入ります次回6月号よりまた一年間宜しく願い申し上げます。
- ◎未使用の切手やはがき、書き損じたハガキも是非お送りください、通信費として大切に使用させていただきます。
- ◎今年の復活祭は4月17日です、イースター献金もお待ち致しております。

編集後記

◇新型コロナウイルス感染症が世界各国で確認されてから2年以上が経ち、新たにオミクロン株という変異株が確認されています。オミクロン株は感染力が従来株より非常に強いですが、重症化率は低いとされています。しかし、高齢者や基礎疾患を持つ方には重症化の危険は同様に伴います。3回目のワクチン接種も多くの行政機関や医療機関で進められていますが、安心できる状態までは程遠い現状です。信仰によって救われたり、癒されたりする事もたくさんあります。感謝の心を持って祈り続けたいと思います。(い)

発行：日本カトリック海外宣教者を支援する会

〒106-0032 東京都港区六本木4-2-39

Tel. 03-5770-8753 Fax. 03-5770-8754

e-mail kaigai-senkyo@cronos.ocn.ne.jp URL <http://www.kaigai-senkyo.jp>

- ・銀行振替口座 みずほ銀行高田馬場支店 普通 2084112
日本カトリック海外宣教者を支援する会
- ・郵便振替口座 00140-5-67881 海外宣教者を支援する会